

平成26年4月14日

受付番号： 2070

団体名： (特非) 社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会 (スリム Japan)

活動名： トンガ王国における地球温暖化による浸水災害防止・減少に係わる環境対応施策に関する基本調査と、その結果に基づく政府および地域住民への事業化構想の啓蒙

平成26年度地球環境基金助成金交付要望に対する結果について

独立行政法人環境再生保全機構  
地球環境基金部

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度は、平成26年度地球環境基金助成金交付要望にご応募いただきありがとうございます。貴団体からご提出いただきました要望書につきましては、誠に残念ではございますが、運営委員会及び地球環境基金助成専門委員会における厳正な審査の結果、採択されるには至りませんでした。

平成26年度の助成事業につきましては、要望総数509件/要望金額約24億3千万円の応募をいただき、募集案内に規定している募集要領及び審査方針に基づき、活動の必要性、効果、実施の確実性等の一般的な事項のほか、採択に当たって特に優先すべき重点配慮事項に照らし、地球環境基金運営委員会及び助成専門委員会における厳正な審査を経て、総数198件（一般助成144件、入門助成33件、復興支援助成9件、プラットフォーム助成2件、フロントランナー助成2件、特別助成8件）/約6億5千万円の案件を採択しました。

貴団体の交付要望書につきましては、助成専門委員会での審議において特に下記の点が考慮されました。来年度以降、地球環境基金助成金に対するご応募をいただく際にはご参考にしていただければ幸いです。

敬具

記

理由1 「Green Hill」という手法をトンガで導入することを目指した基本調査及び関係者への説明を内容としており、大規模公共事業の準備活動と解され、本基金による支援の必要性が薄いと思われました。

理由2 活動対象地域であるトンガ住民からのニーズに関する記述が要望書からは判断できないと指摘されたため、優先順位が低くなりました。